

園田学園女子大学×神戸大学 歴史・文化シンポジウム

# 災害復興と地域歴史遺産



2024年2月25日（日）13：00～

場 所：櫛和館（4号館）

主催：園田学園女子大学

共催：神戸大学地域連携推進本部

後援：兵庫県教育委員会・尼崎市

お問い合わせ

園田学園女子大学 社会連携部 地域連携センター

〒661-8520兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

Tel:06-6429-9921

Email: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp

日本列島はたびたび大きな災害に見舞われ、その都度、復興をとげ、暮らしを守ってきました。災害からの復興は長く険しい道のりです。2025年は阪神・淡路大震災から30年、東日本大震災から15年の節目を迎えます。被災地のそれぞれの復興のなかで、地域にある歴史遺産がどのように活用され、次の世代に継承されてきたのか。東日本大震災で被災した岩手県の民俗芸能「虎舞（とらまい）」を関西に移し保存する活動をされている橋本裕之氏（坐摩神社権禰宜、國學院大學客員教授）、阪神・淡路大震災をきっかけに立ち上げられた歴史資料ネットワークで被災地史料の保全と活用に取り組んでおられる松下正和氏（神戸大学地域連携推進本部特命准教授）のお二人にご報告いただき、災害復興における地域歴史遺産の意義について考えていきます。

## 【プログラム】

(12:30 受付開始)

第1部 阪神虎舞の実演 4号館（櫛和館）1階 クリエイティブcommons

13:00~13:10 あいさつ 大江篤 園田学園女子大学学長

13:10~13:20 あいさつ 奥村弘 神戸大学副学長

13:20~13:50 実演 阪神虎舞

第2部 シンポジウム 4号館（櫛和館）2階 4201 教室

14:10~14:30 趣旨説明 大江篤

14:30~15:00

「無形文化財／無形文化遺産を動態保存する—社会実装としての阪神虎舞—」

橋本裕之（坐摩神社権禰宜、國學院大學客員教授）

15:00~15:30

「風水害による被災歴史資料の保全と活用について」

松下正和（神戸大学地域連携推進本部特命准教授）

15:45~16:30 ディスカッション



「歴史資料の取扱い学習会」（佐用郡地域史研究会・佐用町教育委員会・歴史資料ネットワーク共催）（2011年2月15日撮影、2009年台風9号被災地の佐用町にて）

参加費：無料

お申込み期間：

2024年1月25日（木）～2月19日（月）

### 【お申込み方法】

下記URL、QRコード又はメールより

【お名前、年代、住所（都道府県、市まで）、  
連絡先（メール、電話番号）を記載の上、  
お申込みください。

(URL) <https://forms.gle/9Pxeb4VRZgayWAbz7>



Email: [chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp](mailto:chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp)

申し込み完了後、受講案内兼受講証をメールでお送りいたします。



SONODA  
SONODA Women's University | SONODA Women's College

園田学園女子大学  
園田学園女子大学短期大学部